

6月定例会一般質問要旨

相田 登美枝議員

質 問 事 項	1 豊科公民館内の図書館あとの利活用について
具 体 的 な 内 容	1 豊科公民館内の図書館空き室を中間教室として利用する計画の経緯等について また、空いている教員住宅の利用について 2 利用者側(子ども)から見た、よりよい中間教室とは何か 3 多目的ホールとして活用する考えの有無
答 弁 要 旨	1 教育センター的な構想もあったが、中間教室を移転する方向で検討した。 現在、教員住宅には中間教室移転に適当な住宅はない。 2 相談や学習の場所などの確保のため、入口の位置や間仕切り等について、児童生徒に配慮した研究をしていきたい。 3 教育相談室、中間教室としての利活用を考えている。利用しやすい部屋割を研究していきたい。

平林 徳子議員

質 問 事 項	1 市立の特別支援学校の設置について
具 体 的 な 内 容	1 安曇養護学校への市からの通学児童生徒の状況について 2 市立の特別支援学校設置について
答 弁 要 旨	1 全児童生徒の約半数(52.9%)が市からの通学者。 2 県教育委員会等との情報交換を含め、他の自治体の状況を調べていく。

内川 集雄議員

質 問 事 項	1 安曇野市平和都市宣言と平和教育等について
具 体 的 な 内 容	1 生徒の平和に対する捉え方に違いがあることから、市としての平和教育に対する統一的指導ができないか。
答 弁 要 旨	1 平和教育の目的や趣旨を総合学習及び道徳の時間等に、学校の実態に応じて、児童生徒が主体的にかかわるよう指導している。

小松 芳樹議員

質 問 事 項	1 通学路の再点検について
具 体 的 な 内 容	1 警察・行政・学校・PTAの連携について
答 弁 要 旨	1 通学路の危険個所については、各団体、関係部署との連携を図りながら、児童生徒の安全対策を推進し、交通事故等防止の徹底に努めていく。

黒岩 宏成議員

質 問 事 項	1 東日本大震災から学ぶものは
具 体 的 な 内 容	1 学校教育施設の非構造物耐震対策について
答 弁 要 旨	1 天井、窓ガラス、照明等の非構造物の耐震化については、本年度点検業務を行い、年次計画を作成して回収を進めていく。

荻原 勝昭議員

質 問 事 項	1 安曇野市に4年生大学を新設について
具 体 的 な 内 容	1 安曇野市は大学を誘致する条件に合致するか。教育委員会としての大学設置に関わる見解について
答 弁 要 旨	1 現在の大学は、グローバル化、少子高齢化、情報化への対応等において世界に通用する人材を育てていない。 質的転換が図られた大学であれば社会的ニーズはある。 安曇野市の将来にとって有益な効果をもたらす可能性がある。

松森 幸一議員

質 問 事 項	1 市職員による出前講座の制度化について
具 体 的 な 内 容	1 市職員による出前講座の今後のあり方について 2 市民との共働の観点から、まちづくり部局が窓口となるべきではないか。
答 弁 要 旨	1 合併後行政の内容も大きく変わってきている中では、市職員による出前講座は今後も必要と考える。 2 どの部署が窓口となるべきか、メニューを準備して行うべきか等、今後制度化に向けて研究していきたい。

濱 昭次議員

質 問 事 項	1 子どもたちにとって安心・安全な街づくりの基本的考え方について
具 体 的 な 内 容	1 公園・通学路・防犯灯の設置場所等の危険個所を特定することが安心・安全な街づくりの基本と考えるが、現状等について問う。
答 弁 要 旨	1PTA の協力による「通学路安全マップ」の作成、「安心の家」の登録、各区からの通学路危険個所の報告、オクレンジャー等により、地域・関係者が一体となって児童生徒の安全確保に努めている。

藤原 陽子議員

質 問 事 項	1 学校及び避難場所の防災力強化について
具 体 的 な 内 容	1 学校における通信及び電力の確保について 2 児童・生徒の震災時対応のシミュレーションについて 3 児童・生徒の実践に即した避難訓練の実施について
答 弁 要 旨	1 行政防災無線が有効な手段である。発電施設等は整備されていないため、関係部署と協議していく必要がある。 2 「地域防災計画」に基づく「学校防災計画」の整備、「学校危機管理マニュアル」の作成等を行う中で、チェックポイント等を明確にしたシミュレーションの実施に取り組んでいる。 3 年間を通じて様々な訓練を実施しており、時系列による様々な災害場面を想定した訓練を取り入れる学校もある。